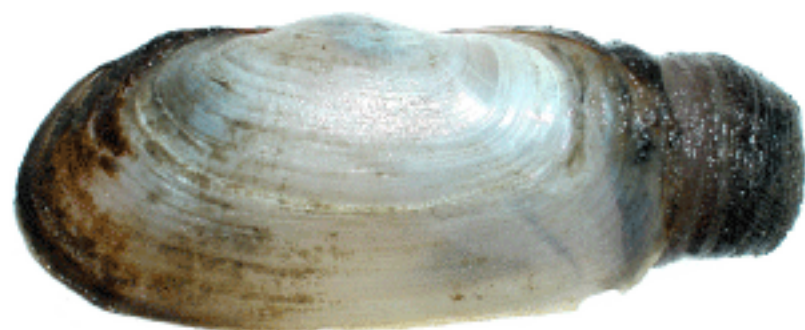


ような餌の取り方をする動物をろ過食者 (filter feeder) と呼びます。アサリもろ過食者です。アサリが水質浄化に貢献しているのは有名ですが、ソトオリガイも同じです。



2004年3月9日灘で採集されたソトオリガイ。

左の個体はNo. 7の1ページに掲載したヤマトオサガニが棲んでいた場所で掘ったものです。すなわち、かなり汚染された底質にも棲むことができます。

数ある動物の和名の中で、貝類は優雅な名前が多いので有名です。「貝の和名」という書物によれば、ソトオリガイは第19代允恭 (いんぎょう) 天皇の妃、弟姫 (おとひめ) の別称、衣通 (そとおり) 姫に由来するそうです。姫の肌の美しさは薄い衣を通すほどだったとか。本種は食用にもなるそうですが、生息地を知ってしまうと二の足を踏みます。横浜の漁師さんによれば、釣りの餌にしていたそうです。愛知県では準絶滅危惧種です。

右の写真は土佐湾の底曳き漁で採れるオキナガイ科のオキナガイ *Laternula anatina* です。やはり砂泥質に潜って生活しています。ソトオリガイよりはるかに薄い殻を持ち、ふくらみも強い貝です。



2003年4月16日佐賀漁港で採集されたオキナガイ。

2004年10月27日発行 発行者：町田吉彦 (理学博士，高知大学理学部教授，
四国自然史科学研究センターセンター長)

本書の内容の無断複製を禁止します。複製ならびに内容についての問い合わせは FAX 088-844-8310 (町田研究室直通) でお願ひします。